

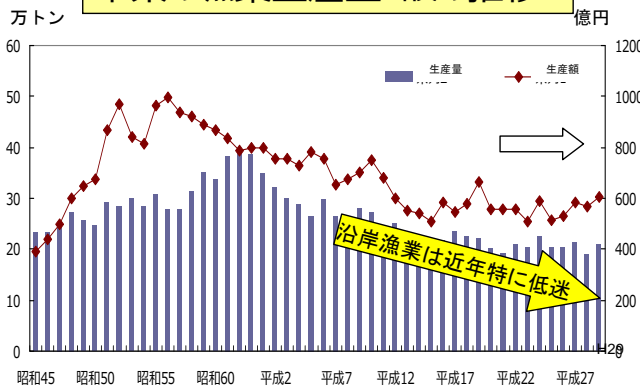
水産イノベーションの推進による 本県水産業の新たな展開

経済産業部水産業局



本県水産業の現状と課題

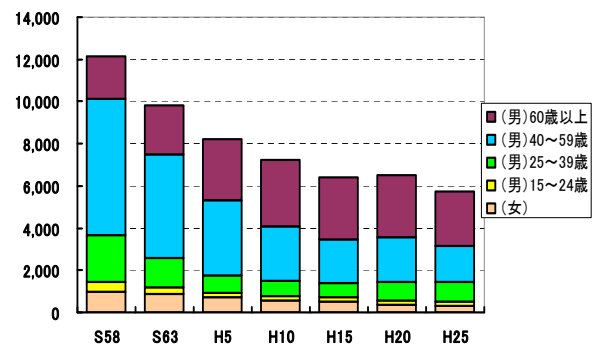
本県の漁業生産量・額の推移



出典：農林水産省「平成29年漁業・養殖業生産統計」

○生産量の確保には、資源管理が重要だが、長期的な取組が必要。

本県の漁業就業者数の推移

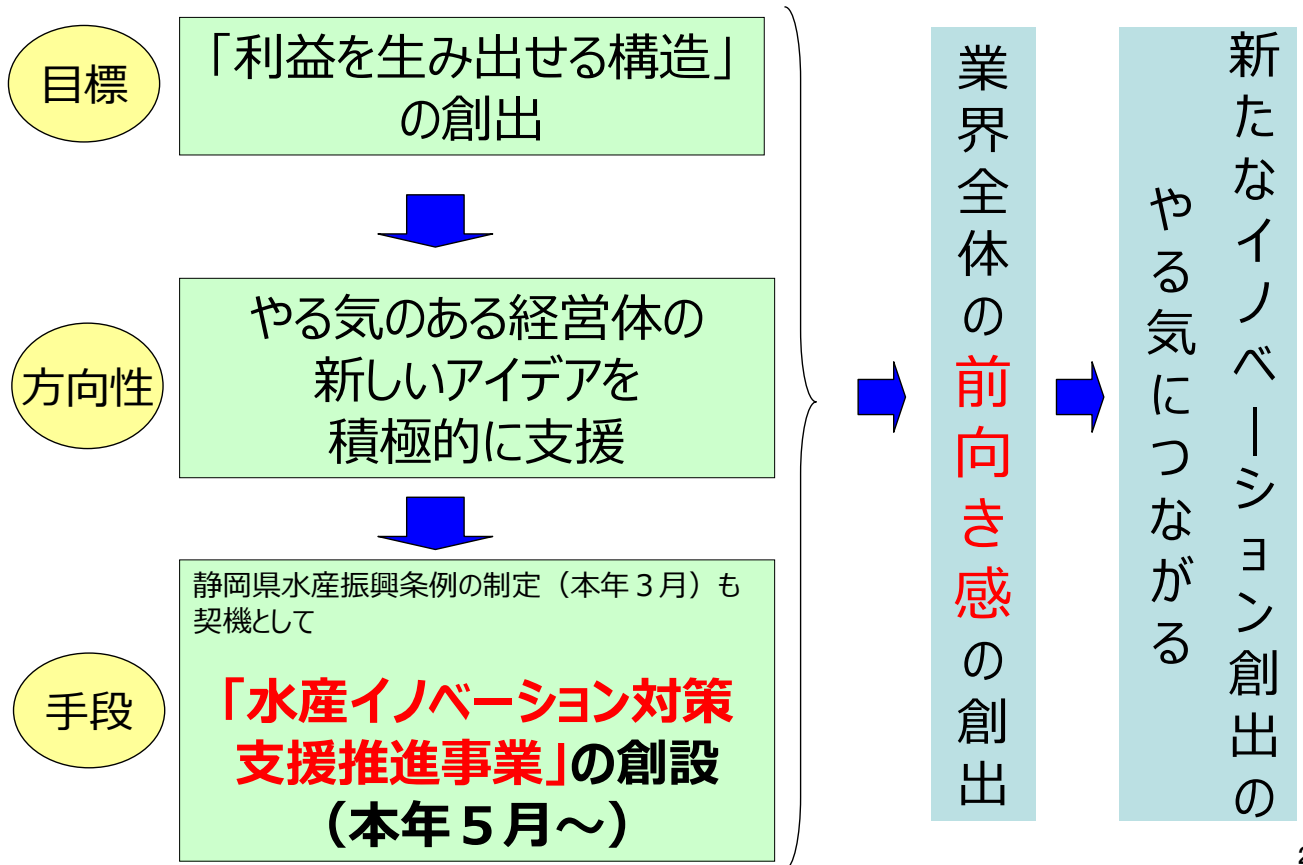


出典：農林水産省「2013年漁業センサ報告書」

○就業者数の確保には、人材育成も重要だが、所得が確保されなければ人は来ない。

生産量の短期間での飛躍的な増大が見込めない中で、**どのようにすれば利益を生み出していけるのか**を考えなければならない。

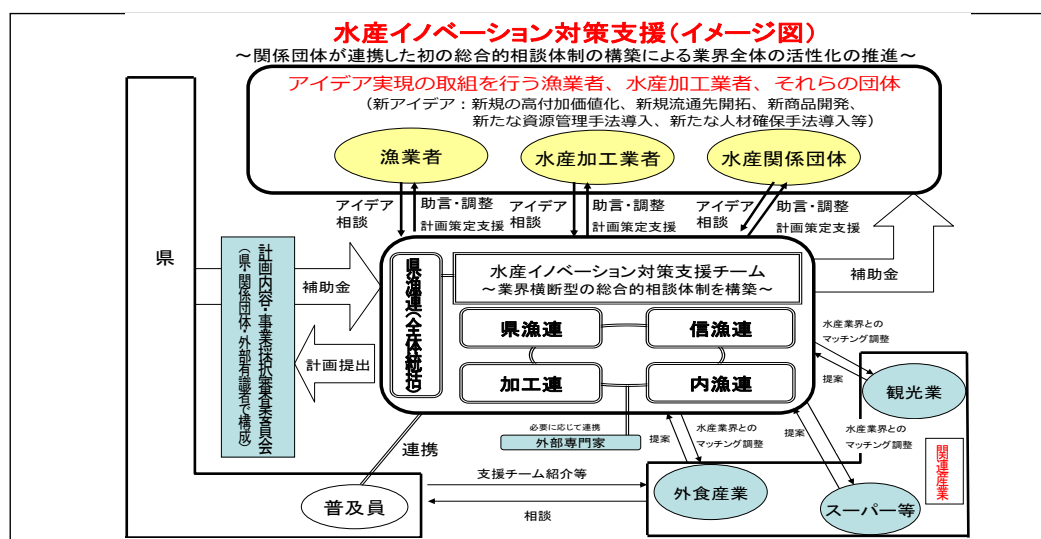
目指すべき方向性



水産イノベーション対策支援推進事業とは

事業の特徴

本事業
これまでの各種事業



水産イノベーション対策支援推進事業（R元年度実績）

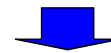
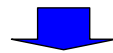
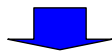
事業の実施状況

事業の実施件数は、1年目にもかかわらず全体で「**71件**」を達成

<実施状況の分析>

(単位：件)

取組分野			地域			業種		
水産振興	資源管理	人材確保	東部	中部	西部	漁業	水産加工業	その他
58 ・新商品開発 ・販路開拓 など	8 ・食害対策 ・漁場環境改善 など	5 ・外国人受入 ・業務省力化	18	39	14	35 (内訳) ・個人11 ・団体24	35 (内訳) ・企業31 ・団体4	1 (内訳) ・団体1



「水産振興」のみならず、「資源管理」、「人材確保」の分野でも活用が進展


「県内全域」でイノベーションが創出

業種に偏りなく業界全体で幅広く事業を活用

4

水産イノベーション対策支援推進事業（取組事例その1）


水産振興の取組 1

申請者	水産加工業者	
目的	小川港産鯖のブランディングと新商品開発	
取組内容	添加物を用いたスープを改良し、 天然鯖のみを使用するラーメンスープの開発 と販路拡大	

目指す効果

3年後
小売伸び率
20%増
(売上1,000万円)

水産振興の取組 2

申請者	漁業協同組合	
目的	規格外（サイズ大）シラスの魚価向上	
取組内容	農協、加工業者と連携し、 規格外サイズのシラスを使用した新商品を開発	

目指す効果

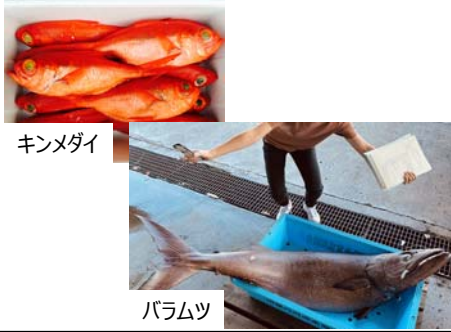
3年後
新商品の売上
5,000千円
取扱店舗
10店舗

5

水産イノベーション対策支援推進事業（取組事例その2）

資源管理・増殖の取組

申請者	漁業協同組合
目的	キンメダイの食害対策となるパラムツの駆除
取組内容	パラムツ捕獲のための専用漁具の製作、各船装備による食害被害に即応した捕獲の実現



キンメダイ

パラムツ

目指す効果

3年後
パラムツ捕獲
200尾

人材確保の取組

申請者	水産加工関係団体
目的	業界団体における労働力不足解消
取組内容	組織の法人化（一般社団）により、特定技能外国人登録支援機関として登録申請し、外国人労働者受入の窓口となる。



水産加工場

目指す効果

3年後
外国人労働者
受入れ
100名

6

今後の展開方向

現在の水産業界が置かれた厳しい状況下においても
頑張っている経営体の挑戦（イノベーション）を
小さなものでも積極的に支援し、
大きなイノベーションにつなげていくことが重要



今後も
「水産イノベーション対策支援推進事業」
の展開を強力に推進して
本県水産業全体の振興に邁進します

7